

第1回3Dものづくり技術研究会の開催ご案内

貴社ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

この度FAISでは、地元企業の皆さまが協同して3Dものづくり技術の研究を行う場として、「3Dものづくり技術研究会」を設立しました。

今回、この3Dものづくり技術研究会の第1回会合を実施し、アンケート調査の学術的見解や先進企業の取り組み事例などを講演会形式で開催しますので、ご案内します。ご参加をお待ちします。

記

1. 開催概要

- 日時：平成27年7月30日（木）13:30～16:00
- 場所：FAIS 学術情報センター（若松区ひびきの1番3号）1階 遠隔講義室1

2. プログラム

13:30	開会の挨拶
13:35~14:15 [40分]	学術的見解： 「北九州地域製造業における3次元化の現状について」 横浜国立大学大学院 竹田陽子教授
14:15~14:55 [40分]	研究会活動紹介： 「3Dものづくり技術研究会」平成27年度活動計画説明 ・活動計画、アドバイザー及び3D技術専門家のご紹介 ・実施中の3Dものづくり無料相談会のご紹介と今後の予定 ・北九高専による支援のご紹介 FAISものづくり革新グループ 牛島雄二部長
14:55~15:55 [60分]	先進企業の取り組み事例： 「小ロット製造代行サービス会社における3Dものづくりへの挑戦」 株式会社三松 田名部徹朗 代表取締役社長
16:00~17:00 [60分]	3Dものづくりに関する質問・相談コーナー： 3D技術の専門家が、皆様からのご質問・ご相談にお応えします。

3. 申し込み方法：別紙「参加申込書」ご記入の上、FAXまたはメールにてご返送ください。

【連絡先】

(公財)北九州産業学術推進機構 産学連携部 柿添

電話：093-695-3006 E-mail：h-kakizoe@ksrp.or.jp

講演者プロフィール

竹田 陽子 教授（横浜国立大学大学院環境情報研究院）

竹田先生は、3次元活用技術の効用について経営面からアプローチする手法で研究を行っている第一人者です。平成25年度に北九州市内の動向について研究を依頼し、その分析結果はFAISの事業計画策定に大きく寄与しています。平成26年度は、前年度と同一の研究手法を用いて北九州広域の3次元活用実態を解明する研究を行っており、また研究会へも貴重な提言をいただいています。

今回は、北九州広域における実態、さらにこの地域が全国に比べてどのような状況にあるのかを解説していただきます。

田名部 徹朗 代表取締役社長（株式会社三松）

株式会社三松（福岡県筑紫野市）は、1974年に葉たばこ乾燥機の部材製作からスタート、薄物板金加工を基本技術とし、「お客様のどんなわがままにもお応えする」をモットーに、設計・開発、部品加工、外注購買、アッセンブリー、工場管理・技能教育までのメーカー機能を代行するサービス業を目指し、1個からの小ロットから数千個までの中量品に対応している企業です。

また自社製生産管理システムSINSを構築し、メーカーが異なる多数の最新機器全てをネットワーク化し連携させていますし、デジタルと職人技との融合を目指した3D対応自動塗装ラインや、3DCAD対応溶接ロボットといった業界でも先駆的な設備も積極導入しています。2010年には、3D-CADのカスタマイズ事業から3次元シミュレーションソフト「SMASH」の開発販売も手掛けています。

今回は、これら先駆的な取り組みについて、ご披露いただきます。